

西地区 幼保小教育交流事業
令和7年度 健やか子育て講演会

「はじめの 100 か月の育ちビジョン」から考える これからの保育・教育

妊娠期から小学校1年生までがだいたい100か月です。この時期に、子どもは、様々な人やモノ、環境との初めての出会いを繰り返し育っていきます。『初めの100か月』は生涯の幸せを育てます。

はじめの100 か月は生涯にわたるウェルビーイングの向上に繋がっていく、大切な時期です。

(子ども家庭庁 HP より https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi)

11月27日(木) 15:00~16:30

会場:横浜市立宮谷小学校 体育館

参加対象

幼稚園・保育園・認定こども園
・小学校で働いている方
保護者・地域の方

参加費 無料

事前のお申込みは不要です



<プロフィール>

日本保育学会副会長、こども環境学会副会長

こども家庭庁「こども家庭審議会」委員および「幼児期までのこどもの育ち部会」委員(部会長)、文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」委員(～2024 年度)、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、NHK・E テレ「すくすく子育て」出演、テレビ静岡「テレビ寺子屋」出演、等

<近年の主な著書>

- ・『子ども主体の保育をつくる56の言葉』(学研、2025 年)
- ・『大豆生田啓友対談集 保育から世界が変わる』(北大路書房、2025)
- ・『豊かな直接体験をベースに ICT で広がる保育』(チャイルド本社、2025)
- ・『リーダーのためのリスペクト型マネジメント③機能化と地域共生の園づくり』(フレーベル館、2024)
- ・『保育の「ヘンな文化」そのままでもいいんですか!?』(小学館、2024)

その他多数執筆されています

【お問い合わせ先】

西地区幼保小教育交流事業 実行委員長：田村憲一
(横浜市立富士見台小学校 741-4169)



講師 玉川大学教育学部 教授
大豆生田 啓友 氏